

科研費講演会

ローベルト・ヴァルザーの「ファン・ゴッホ」テキストについて (1912 年、雑誌『芸術と芸術家』掲載版)

»Ein Mensch [...] wie er leibt und lebt«

Robert Walsers van Gogh-Text von 1912 in der Zeitschrift Kunst und Künstler

講師：Dr. Reto Sorg (Bern, Robert-Walser-Zentrum 所長)

日時：2025 年 11 月 15 日 (土) 15:00-17:00

会場：明治大学駿河台キャンパス リバティータワー12F 1124 教室

(使用言語 ドイツ語、入場無料、申込不要)



Kunst und Künstler 1912 Heft.9

作家ローベルト・ヴァルザーは数度にわたり、フィンセント・ファン・ゴッホの絵について小文を書いており、そのうち散文「ファン・ゴッホの絵」(1918)、詩「ファン・ゴッホ」(1933)は日本語にも翻訳されている(『絵画の前で』若林恵訳、鳥影社、2021年所収)。本講演では1912年に「ファン・ゴッホのアールの女について」と題して書かれた小文を芸術雑誌『芸術と芸術家』に掲載された形態から詳細に分析し、ヴァルザーの絵画論の特徴を論じる。

Dr. Reto Sorg

ローベルト・ヴァルザー・センターの所長を長年勤め、ベルン版ヴァルザー全集(2018-2025)の編集・刊行を進めるなど、ヴァルザー研究の国際的発展を推進する。近現代スイス文学研究、画家パウル・クレー研究などの分野で共著書多数。スイス、ローザンヌ大学でも長年にわたって教鞭をとっている。